11月12日　令和3年度　瑞浪市功労者・教育功労者表彰の表彰式が開催されました。

長年にわたりご尽力いただき、瑞浪市の発展に貢献されたことに対し深く敬意を表します。

稲津受賞者

瑞浪市功労者表彰（敬称略）

◎消 防 功 労　工藤 一英 古田真嗣　消防団員として、多年職務に精励し、地域防災に尽力

◎善 意 ・ 善 行　小井戸 区　市民の模範となる善意・善行　長年にわたり、里親制度を利用して市道の維持管理に貢献（市道萩原・小井戸線ほか１路線）

瑞浪市教育功労者表彰（順不同・敬称略）

◎教育関係職員　牛島 正治　多年にわたり学校教育の向上発展に尽力

◎児童、生徒、学校　大島 寛奈（瑞浪南中学校３年）　ジュニアオリンピックカップ u16　円盤投　岐阜県１位　ジュニアオリンピック出場

渡邊 颯汰（麗澤瑞浪中学校３年）ジュニアオリンピックカップ u16　1000m　岐阜県１位　ジュニアオリンピック出場　国体選手選考会　1500m　１位

◎　一　般　奥村 一仁 水野 清人 和田 有史　多年にわたり稲津陶野球スポーツ少年団の指導者として、青少年の健全育成に尽力

ii-nuts!!

11月28日　豊かな自然を守り継ぐために　屏風山・黒の田湿地整備作業

黒の田湿地愛好会の皆さん19名は年間を通じて湿地や登山道の整備をしてくださっています。荒れた山道には土嚢を積むなど整備し、黒の田湿地までの山道を草刈り機や燃料を担いで登ります。それからの作業は体力的にも大変だと思いますが、少ない人数で広大な湿地の草刈りをしてくださいました。

稲津の大切な自然文化遺産を守るために、湿性植物が生育しやすいよう環境を整えるなど、ボランティアで季節ごとに活動してくださっています。

12月6日　『未来の稲津を考える会』委員会発足!

20年後30年後に何を残すか、何が残せるか？稲津在住の30代40代の方たちに、想いを語っていただく委員会を設置しました。

5月に委嘱式を予定していましたが、新型コロナウイルス感染症対策で12月まで延期し、6名に委嘱状を交付しました。

既に、オンラインで話し合い、「子どもが幸せになれる町」「いろんな人と交流ができる暖かな町にしたい」といった方向性を考えられているそうです。

12月12日　一足お先にクリスマスプレゼント♪

まちづくり年末イベント「Ensemble Ses が贈る音楽のギフト」

2年越しでやっと開催できた「まちづくり年末イベント」は演奏者も観客も新型コロナウイルスの感染対策をとりながらですが、感動し心に残るコンサートでした。

選曲も衣装もクリスマスバージョンでワクワクし、しっとりとした歌には胸が熱くなりました。楽器説明や曲の成り立ち、エピソードなど交えながらのお話も分かりやすく本物の音楽に触れることができました。

ii-nuts!!ギャラリー　写真展1/11～　中学生書初め展1/25～

小学生のすてきな作品

学校作品展第３弾。色彩豊かな絵画28点、個性が光る焼き物16点の選ばれた作品を、10日間にわたって展示しました。

上級生や下級生の作品をじっくり観賞したり、お子さんやお孫さんの作品をカメラに収めるなど、大勢の方が訪れました。

1月の稲津さん

このたび結婚相談員になりました。

桑原きみ子 さん 69歳

（山の田１号）

昨年の９月に委嘱され４か月がたちました。

ハートピアで第１水曜日、第２・第４日曜日の月３回相談日があり当番日に出勤します。

ご本人のみとご家族からの相談の割合は半々ぐらい。男女でみると男性の方が多いようです。費用は?と聞かれる方もみえますが無料です。相談を受けご本人の希望があれば、プロフィールなどを記入していただき、岐阜県のマッチングアプリに登録します。

カウンセリングの後、登録まで進みホッとした表情で帰られる姿を見ると、小さなお手伝いが出来ているのかなと嬉しくなります。任期は２年、皆さんの応援者になれればいいなと思っています。

青少年育成町民会議　標語優秀作品

テーマは「つなぐ（つながる）」「ふれあい」「願い」、この中から好きなテーマを選んで応募していただきました。

応募総数364作品から４作品が優秀作品に選ばれました。公民館ホール入口付近に標語看板を設置し１年間提示されます。

- **広げよう　手と手をつなぐ　稲津のわ**
  小３　伊藤　涼星
- **あいさつで　笑顔つながる　稲津の環**
  小６　小木曽　光琉
- **思いやり　溢れる街に　未来あり**
  中２　加藤　妃向
- **挨拶は　見えない糸で　人繋ぐ**
  中３　西尾　直起

公民館　イベント等開催中止のお知らせ

新型コロナウイルス感染予防・拡大を防ぐため、中止としましたのでお知らせします。

2月【ひな雛まつり】

園児と町民の皆さんに和楽器に触れていただこうと、箏の演奏会とお稽古体験を予定していましたが、密を避けられないので中止させていただきます。

		11月1日現在	12月1日現在	増減
人口	男	2,077　人	2,072　人	−5
	女	2,153　人	2,154　人	1
	計	4,230　人	4,226　人	−4
世帯数		1,710　世帯	1,713　世帯	3

	不燃ごみ	ビン・缶・ペットボトル・紙類・古着
小　里	1月19日	1月26日
	2月16日	2月22日
萩　原	1月18日	1月25日
	2月15日	2月21日

館長コラム

謹賀新年

新年あけましておめでとうございます。清々しい新年を迎えられたこととお慶び申し上げます。

昨年、一昨年と新型コロナウイルスの脅威の中での生活を余儀なくされた。普段からマスクをつけての生活、目だけ見て誰か解らず失礼をしてしまったのではないかと不安になることもある。色・形などファッション性のあるマスクが多く出回り、おしゃれの一部に様変わりしてきた。

お店の入り口、家庭での玄関先にアルコール消毒液を設置、今まで以上に手洗い、うがいの励行など生活様式も大きく変わった。

また忘年会、新年会等も中止を余儀なくされ、人間関係も希薄にならないか、大きな声を出したり、笑いあい、喋り合うなどストレス発散の機会の減少など不安になる。

非常事態宣言が発令されて感染者が減少する。そしてまた増加するの繰り返しである。ワクチン接種も高齢者から順次始まり、多くの市民・町民の皆さんに行き渡ってきました。しかしまた新たな変異株が発生するなどワクチン接種が済んだ後もまた非常事態宣言が解除されても油断することなく個人個人がその後の生活を考えていかなくてはいけない時代が来たのだと思う。

今、我々が目指すべきことは「一時の「収束」ではなく、「終息」ではないでしょうか。

令和４年が皆さまにとって明るく輝く１年となるようご祈念申し上げます。

（M）